



御神輿の後ろを神馬が歩くなど伝統の祭典

米内沢神社祭典
米内沢神社の祭典が、5月8日、米内沢地区で執行されお神輿行列が町内を練り歩きました。
米内沢神社の祭典は、毎年自治会ごとの大当（おとまゑ）当番が担い、今年は大町自治会が執行を担当しました。
祭典は、前夜祭で巫女による舞が奉納され、祭典当日の神事では「湯立て」の儀式によってその年の作況を占うなど伝統ある行事です。
お神輿行列は、米内沢共済会が担い、米内沢共済会役員、猿田彦命を先頭に御旗、お神輿、神馬、と続き、地元の役員などが正装でその後に参列、総勢100名ほどの行列が町内を練り歩きました。

威勢よくお神輿巡行



竜森小学校



合川北小学校



米内沢小学校

さわやかな五月晴れとなった5月10日と11日の両日、市内4中学校で体育祭（10日）、市内全16小学校で運動会（11日）が行われ、各学校で子どもたちの歓声が響きわたりました。11日に行われた小学校の運動会のうち、鷹巣南小学校との学校統合のため今年度限りで閉校となる七日市・竜森小学校（明石勝美校長、児童数12人）では最後の運動会になりました。



鷹巣南中学校



阿仁中学校



森吉中学校



循環型社会を目指し構想策定へ

資源循環型社会への第一歩

バイオマス構想策定委員会

資源循環型社会の形成に向けた「第1回北秋田市バイオマス構想策定委員会」が、5月12日に市交流センターで開催されました。バイオマスとは、家畜の排泄物や木廃材、稲わら、もみガラ、さとうきび、なたねなどを、堆肥や固形燃料、バイオ燃料、電力などに変換し、循環型社会への移行していく構想を目指す地域の活動です。
谷田貝委員長は「秋田県は食料自給率が全国2位でバイオマスとなる資源はたくさんあり、地域の特色を出した独自性のあるバイオマスタウンを目指したい」などとあいさつ。今後は、調査報告をもとに変換処理、利用状況の推計をしながら構想を策定していきます。



北秋田の地に舞い降りたタンチョウ

合川地区の阿仁川と小阿仁川の合流付近で5月20日、田植えをしていた住民から鶴に似た鳥を見かけたという情報が寄せられました。市教育委員会で確認したところ、特別天然記念物のタンチョウ（丹頂鶴）ではないかと見られています。
鳥を見かけた住民は「2、3日ぐらい前から見かけていたが、サギとしては大きく、もしかしたらと思っていたが、やはり鶴であったとはびっくり」と話していました。
タンチョウは、北海道の釧路湿原などに生息しており、希少な動物で、本州に飛来することはまれです。見かけた方は、驚かしたり傷つけたりせず、温かく見守ってください。

タンチョウが舞い降りる

阿仁川と小阿仁川の合流付近



市の花「あじさい」を植樹し、子どもの成長を願う

第33回誕生の森記念植樹
第33回誕生の森記念植樹が5月18日、あじさいが有名な翠雲公園で晴れやかな青空のもと行われ、平成19年4月2日（2004年4月1日）までに合川地区で生まれた子供のうち、19家族が申し込み、あじさいの苗木を記念植樹しました。
はじめに関源一合川公民館長が「子供は少ないがそれだけ地域の期待も大きい。それぞれの思いを込めて植樹してほしい」とあいさつ。また、全国植樹祭の日に、天皇皇后両陛下がお手植えされる予定のブナとヤマモミジにちなみ、翠雲公園にブナとヤマモミジをそれぞれ1本ずつ植樹しました。

ふるさとに心を残し成長を願う